



世界農業遺産 にし阿波の傾斜地農耕 システム

GIAHS

GLOBALLY IMPORTANT AGRICULTURAL HERITAGE SYSTEMS



食料供給してきた斜面農地
(そば畑)



多様な植物が生息する採草地
(フクジュソウ)



流れ出た土壌の回復
(ツチアゲ作業)



伝統農文化の雨ごい
(神代踊り)



独自の農山村集落風景

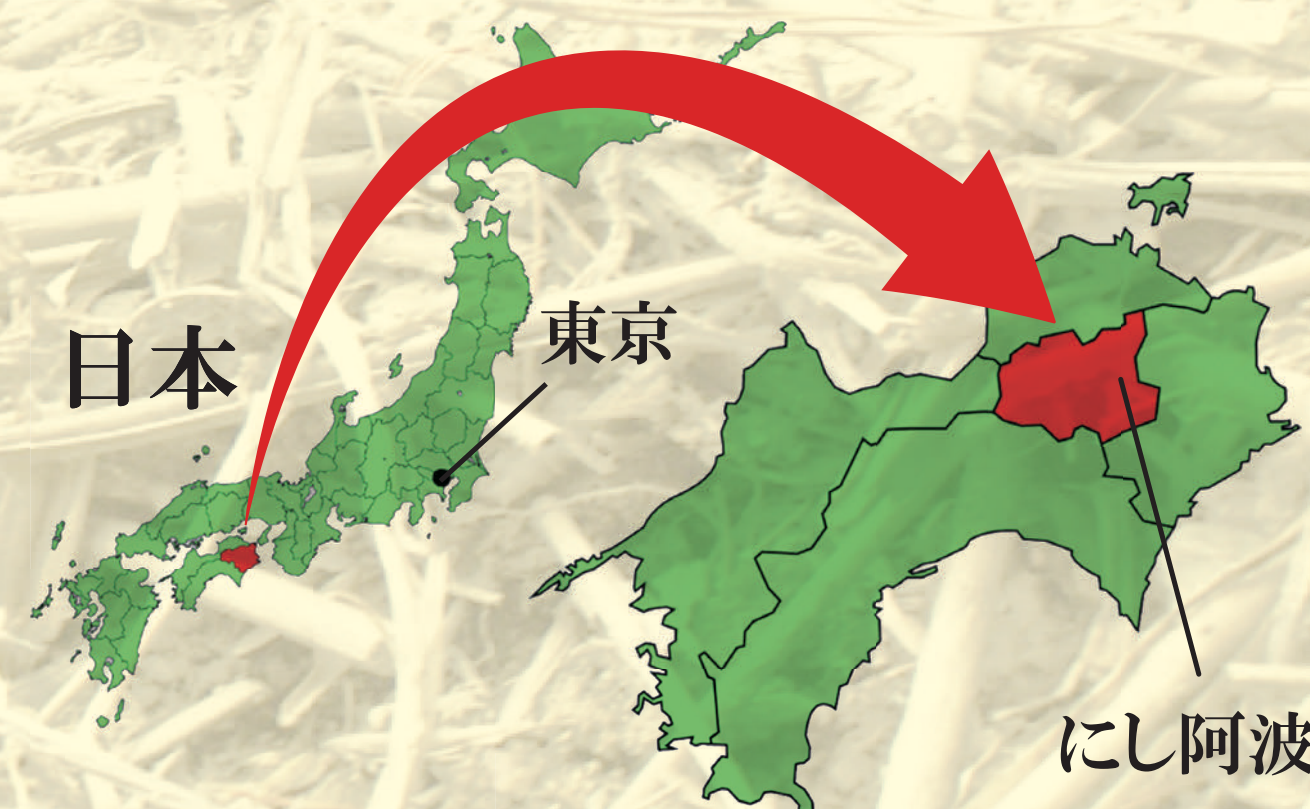
〔にし阿波の傾斜地農耕システム〕

四国中央部の「にし阿波」と呼ばれる徳島県西部の山間部では、場所によっては斜度40度にもなる急傾斜地で、段々畑のような水平面を形成せずに傾斜地のまま農耕し、風雨などで起こる土の流出を草地で採取した敷き草(カヤ)を畑にすき込むことで最小限に抑え、そば等の雑穀や伝統野菜に山菜、果樹など少量多品目を組み合わせる複合経営により、400年以上にもわたり山間地の環境に適応してきた持続可能な農耕システムです。

徳島剣山世界農業遺産推進協議会

美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町、美馬農業協同組合、阿波みよし農業協同組合、徳島県、徳島大学、農業・食品産業技術総合研究機構
事務所：徳島県美馬郡つるぎ町貞光字東浦1-3(つるぎ町商工観光課内)

TEL:0883-62-3111(代) FAX:0883-62-4944 E-mail:syokou@tsurugi-i-tokushima.jp <https://giahs-tokushima.jp>



協議会 HP



You Tube